

## 横田基地における演習の実施等について

## 1 演習の名称

- サムライ即応監査（S R I : Samurai Readiness Inspection）

## 2 日程

- 令和3年4月26日（月）～同年5月7日（金）（土日を除く）  
ただし、4月26日（月）～30日（金）は机上訓練
- 通常の運用時間帯（0600～2200）の範囲で実施予定  
ただし、5月3日（月）～7日（金）は24時間体制で実施予定

## 3 内容

- 実施に伴う航空機の運用
  - ・ 通常よりも運用が増える予定であるが、外来機の使用はない予定
  - ・ 5月3日（月）以降、夜間飛行の計画がある
  - ・ C V - 22の飛行はない予定
- P A S、G B S及び煙幕等の使用
  - ・ 5月3日（月）以降、夜間にP A S、G B S、煙幕及びバッシュキャノンを使用する可能性がある

## 4 その他

- 5月3日（月）以降、ゲートを閉鎖する可能性はあるが、短時間で一時的な閉鎖
- 演習終了の通報を行う予定
- 演習等の予定については、諸事情により変更される場合あり

## 5 北関東防衛局における対応

- 北関東防衛局から米軍に対し、本演習の実施に当たっては、日米合同委員会合意を遵守するとともに、航空機運用及びP A S等の使用、特に通常の運用時間外に実施するものについては、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう配慮を申し入れた。

（参考）

- ・ S R I : Samurai Readiness Inspection（サムライ即応監査）  
有事における即応態勢の維持強化及びORE<sup>※</sup>に対する監査。  
※ORE : Operational Readiness Exercise（運用即応演習）  
仮想戦闘環境における基地の機能テストであり、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応態勢をとることを訓練するもの。
- ・ P A S (Public Address System) : パブリック・アドレス・システム  
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S (Ground Burst Simulator) : グラウンド・バースト・シミュレーター  
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。
- ・ バッシュキャノン (Bash Cannons) : 滑走路上の鳥を追い払うための、疑似音を出す装置

以 上